SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

第28回 技術報告会 静岡大学学長 挨拶

メタデータ	言語: ja 出版者: 静岡大学技術部 公開日: 2023-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 日詰, 一幸 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00029512

第 28 回　技術報告会　静岡大学学長　挨拶

静岡大学学長　日詰 一幸

本年の静岡大学技術報告会は、通算第 28 回となりました。今年度も昨年に続きまして新型コロナの影響により、各会場をオンラインで結び技術報告会が盛大に催されることをたいへん嬉しく思っております。

近年のコロナ禍におきましても、科学技術は着実に進歩し、多様な発展を遂げている中、大学における技術職員の役割は益々重要になっております。過去と比べて技術職員が減少した状況の中で、少ない人数でありながらより高度かつ広範囲な専門技術を提供することが、必要となります。

技術報告会は、技術職員の日頃培った技術力を公開発表し互いに切磋琢磨することで、より高度なものに向上させるとともに、他の専門分野の技術の吸収、若い世代への技術の継承を行い、かつ技術者間の交流を深める重要な機会となっておりますので、本報告会には私としても大いに期待しております。

本学は、「自由啓発」の理念を高く掲げ、全学の教職員、学生が共に手を携えて、地域の課題さらには地球規模の諸問題に果敢にチャレンジするとともに、人類の平和と幸福を絶えず追求し、希望に満ちた未来を創り出す「未来創成」に全力を尽くしております。

グローバル化と科学技術の急速な発展の下での知識社会化の進展に伴い、我々の社会はあらゆる側面での絶えざるイノベーションを求められていますが、イノベーションの背景にある斬新な発想や失敗を恐れず様々な課題に挑戦する気概は、自由を尊重し多様な文化や思想を積極的に受け入れようとする環境の下でのみ生み出されるものです。

先人たちが築き上げてきた伝統の上に立って、静岡大学を自由闊達で多様性に満ちた教育・研究の場として更に発展させて行くため、技術部におかれましても、狭い専門分野を超えた幅広い関心と新しい科学技術の最先端の動向を学ぼうとする貪欲さを常に忘れず、今後とも静岡大学の教育・研究の発展に貢献できるように励んでいただきたいと思います。

静岡大学の教育・研究の基盤を担っていただいております技術職員の皆さまのお力添えに心から感謝するとともに、技術部のこれからのさらなる発展に向けて引き続きご尽力いただきたいと思っております。皆様のご活躍、ご発展を祈念いたしまして、簡単ではございますがご挨拶に代えさせていただきたいと思います。